

A0012 213系 マリンライナー・黄色(クロ212) 6両セット

予価:24,600円(税別)

JANコード: 101681 カートン内入数: 12

A0015 213系 マリンライナー・黄緑(クロ212) 6両セット

予価:24,600円(税別)

JANコード: 101711 カートン内入数: 12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

国鉄では113・115系の後継として軽量・省エネ・高性能の近郊型電車を開発しており、ステンレスボディ・2扉クロスシートを持つ213系が登場しました。国鉄末期の1986(昭和61)年に落成したグループは、当時予定されていた本四備讃線(瀬戸大橋線)の開業に備えて岡山電車区に配置され、宇野線で使用されました。1988(昭和63)年の開通以降は観光需要に対応する形で快速「マリンライナー」に連結するためにクロ212型パノラマグリーン車が登場し、大きな話題になりました。クロ212の連結に対応するために既存編成の一部を組み替えたほか、クモハ213、サハ213の増備が行われて最終的に3両編成12本と全車グリーン車の211系「スーパーサルーンゆめじ」1本の39両が瀬戸大橋のエースとして活躍しました。普通鋼製で車両肩部に跨る大型連続曲面窓を持つクロ212は合計で5両が登場し、各車で帯色が変わっていたのが特徴です。213系の帯色のうちJR西日本のコーポレートカラーの青色はそのまま、クロ212-2は水色部分が黄色に、クロ212-5は黄緑色に彩られました。2003(平成15)年に後継となる223系(JR西日本)、5000系(JR四国)の登場に伴って山陽本線、赤穂線などの岡山地区ローカル運用に転用されました。パノラマグリーン車は4両が廃車されたほか、1両が試験車両「U@Tech」の制御車として現在も使用されています。

商品概要

- ・マイクロエース近郊型電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用
- ・フライホイール付動力ユニット搭載
- ・クロ212のスカート部品の形状を変更

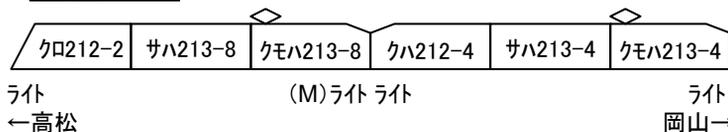
黄帯+青帯のクロ212



- ・前面表示器の「マリンライナー」及び「快速」は印刷済
- ・印刷済ヘッドマーク2種類(マリンライナー、サンライナー)付属
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

JR西日本商品化許諾済

編成図 A0012



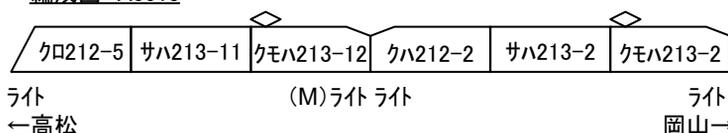
黄緑帯+青帯のクロ212



- ・前面表示器の「マリンライナー」及び「快速」は印刷済
- ・印刷済ヘッドマーク2種類(マリンライナー、サンライナー)付属
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

JR西日本商品化許諾済

編成図 A0015



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001

付属品 行先シール、ヘッドマーク